

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110014	XXX110014			国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
		2	前期	情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	2年
文化人類学	木佐木 哲朗			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	基礎	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	基礎	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	基礎	選択	2年

授業目的

多様な社会の人々が創造してきたさまざまな文化を比較研究して人間自身を問い直す、文化人類学の入門科目です。まず、文化や人種・民族の概念規定や人間の言語能力を整理します。そして、自然への人間の適応(生業)に注目し、採集狩猟民・牧畜民・農耕民・都市民それぞれの社会の実例を取り上げます。文化の担い手としての人間の対等性を前提にして、土着の技術や社会構造・人間関係の特性および呪術・宗教や世界観など多様な文化を学び、地域社会や国際社会の中での共生を考えてもらいたいと思います。

各回毎の授業内容

第1回

【授】自然人類学と文化人類学
【前・後】類人猿や人類の進化に想いをはせてみてください。

第2回

【授】文化の概念とその担い手としての民族
【前・後】人種差別に根拠はなく多様な民族に優劣はないことを理解してください。

第3回

【授】人間の特色としての言語
【前・後】動物のなき声と人間の言語の違いを確認しましょう。

第4回

【授】人類史の大半を占めた採集狩猟という生業
【前・後】人類はどのように食料を手に入れたかを想像してみてください。

第5回

【授】伝統的採集狩猟民社会の特徴
【前・後】ブッシュマンを例に彼らの社会の特徴を整理してみましょう。

第6回

【授】採集狩猟民社会の変容と直面する問題
【前・後】私たちとは異なる彼らどのように接するべきか考えてください。

第7回

【授】私たちに馴染みのない牧畜という生業
【前・後】酪農とは本質的に異なる牧畜とはどのような生業か理解しましょう。

第8回

【授】伝統的牧畜民社会の特徴
【前・後】エチオピアの牛牧畜民ボディを例に社会の特徴を整理してみましょう。

第9回

【授】家畜をめぐる社会的特性への理解
【前・後】農耕民とは異なる牧畜民のアイデンティティや世界観の理解に努めてください。

第10回

【授】農耕という生業ゆえの技術発展
【前・後】農耕へ移行して生じた技術発展の条件は何か考えてみましょう。

第11回

【授】農耕民社会の複雑化と永続性
【前・後】社会の複雑化と共に超世代的価値が生まれた過程を考えてください。

第12回

【授】植物栽培を通した死と再生の観念
【前・後】作物を育てることで生じた観念や思想を理解しましょう。

第13回

【授】イスラームという宗教
【前・後】イスラーム社会の人々が信仰するイスラーム教の本質にせまりましょう。

第14回

【授】イスラーム都市社会の特徴
【前・後】イスラーム社会の実際の生活を学んでください。

第15回

【授】まとめ
【前・後】人間の対等性あるいは文化の相対性を理解しましょう。

第16回

【授】定期試験
【前・後】事前にノートを整理して自らの考えを加え論述してください。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							15
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							15
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

教科書参考書

教科書は指定せず適宜プリントや参考書を紹介します。

受講に当たっての留意事項

板書や口頭での説明をきちんとノートに取りましょう。また、授業中の私語等は厳禁です。

学習到達目標

文化の多様性のみならず、文化は相対的存在であるという理解を身につけてもらいたいと思います。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習